

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	県宝“悠久のほほ笑み”や写真による回想法を活用した地域活性化
事業主体 (連絡先)	大桑村教育委員会 (0264-55-1020)
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,083,352円 (うち支援金: 812,000円)

#### 事業内容

大桑村歴史民俗資料館来館者に“悠久のほほ笑み”ピンバッジやクリアファイルをプレゼントし資料館の展示物の良さをPRする。また、アンケートに協力いただき、今後の資料館活動に活かす。

資料館に寄託されている写真をA3版に引延し写真展を開催したり村内老人福祉施設に貸し出したりして、世代間交流や認知予防に役立ててもらおう。

- ・ピンバッジ・クリアファイルを来館者にプレゼント  
8月～11月
- ・写真展開催 7月 7日～7月25日  
8月13日～9月12日
- ・村内老人福祉施設写真貸し出し 7月～9月

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①今年度も感染症・豪雨災害で2週間近く臨時休館したが、目標数の3000人近い入場者があった。入館者の4割が次世代を担う30代以下であった。
- ②「大桑の歴史の古さを改めて感じ本当にすごい所だと思う。」など資料館や収蔵品の良さを肯定する声が、アンケートの98.5%あり、今後の運営に活かしていく。
- ③「あの頃の写真展」を開催し、資料館で538人、老人福祉施設で400人が鑑賞し昔を懐かしんだ。高齢者からの評判も好評であった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

資料館についての改善点も含め貴重なアンケート結果だった。肯定的な意見は、今後も大切にして“悠久のほほ笑み”をはじめ収蔵品のPR・情報発信をしていきたい。改善点については、長野県立歴史館などから専門的な助言を受けてよりわかりやすく見やすい展示を心がける。施設面については、順次計画的に整備していく。

写真については、大きな反響をいただいたので、今後も計画的に写真展や貸し出しを企画していく。施設内・家族内では、写真を通して世代間交流が出来始めているので、その輪を広げてさらに高齢者が自己肯定感のある充実した時間をすごせるように貢献したい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【写真を見る施設利用者】

#### 【目標・ねらい】

- ①資料館来館者数増加(特に若年層の増加)
- ②資料館や収蔵品への関心喚起
- ③高齢者の生きがいづくり

※自己評価 【 A 】

#### 【理由】

- ・資料館入館者が、高齢者だけでなく、若年層も増えている。
- ・村民でも初めて資料館を訪れ、その良さに気づいてもらっている。
- ・古いふるさとの写真を見て、高齢者だけでなく若者も関心がもて、世代間交流の芽が出た。